

BEP 療法

BEP 療法

ID

氏名

週毎 コース予定

年齢

疾患名 胚細胞腫瘍

科名

病棟

主治医

指導医

HBs 抗原(+ -) HBc 抗体(+ -) HCV 抗体(+ -)

スケジュール

	Day	1	2	3	4	5	…9	…16
ブレオ(ブレオマイシン) 30mg/body			↓				…↓	…↓
エトポシド 100mg/m ²		↓	↓	↓	↓	↓		
シスプラチン 20mg/m ²		↓	↓	↓	↓	↓		

【注意】 * 1日の尿量が2000 mL以上になるように化学療法開始前日より輸液を行う。

* シスプラチンは遮光のこと

* エトポシドは溶解後結晶が析出するため用時100mgを輸液250mL以上で溶解(濃度0.4mg/mL以下の濃度になるように)し30~60分で点滴静注するのが望ましい。またDEHPフリー点滴セット(フィルターなし)を使用する。

☆通常量より減量する際の理由☆

(レジメン)

Day 1

抗がん薬投与1時間半前にアプレピタントカプセル(125mg)1Cを内服

① 生食 500mL で血管確保 維持(20mL/時間)

② グラニセトロン注 3mg 1筒+デキサメタゾン注 9.9mg(3mL) + 生食 100mL

点滴静注 30分

③ エトポシド + 5%糖液 500mL 点滴静注 120分

④ シスプラチン + 生食 500mL 点滴静注 120分

BEP 療法

Day 2

抗がん薬投与 1 時間半前にアプレピタントカプセル (80 mg) 1C を内服

- ① 生食 500mL で血管確保 維持 (20mL/時間)
- ② グラニセトロン注 3mg 1 筒+ デキサメタゾン注 6.6mg(2mL)+ 生食 100mL 点滴静注 30 分
- ③ プレオ + 生食 50mL 点滴静注 5 分(600mL/時間)
- ④ エトポシド + 5%糖液 500mL 点滴静注 120 分
- ⑤ シスプラチン + 生食 500mL 点滴静注 120 分

Day 3

抗がん薬投与 1 時間半前にアプレピタントカプセル (80 mg) 1C を内服

- ① 生食 500mL で血管確保 維持 (20mL/時間)
- ② グラニセトロン注 3mg 1 筒+ デキサメタゾン注 6.6mg(2mL) + 生食 100mL
点滴静注 30 分
- ③ エトポシド + 5%糖液 500mL 点滴静注 120 分
- ④ シスプラチン + 生食 500mL 点滴静注 120 分

Day 4, 5

- ① 生食 500mL で血管確保 維持 (20mL/時間)
- ② グラニセトロン注 3mg 1 筒+ デキサメタゾン注 6.6mg(2mL)+ 生食 100mL
点滴静注 30 分
- ③ エトポシド + 5%糖液 500mL 点滴静注 120 分
- ④ シスプラチン + 生食 500mL 点滴静注 120 分

Day 9, 16

- ① 生食 500mL にて血管確保 維持 (20mL/時間)
- ② グラニセトロン注 3mg 1 筒+ デキサメタゾン注 6.6mg(2mL)+ 生食 100mL 点滴静注 30 分
- ③ プレオ + 生食 50mL 点滴静注 5 分(600mL/時間)

BEP 療法

	コース目						
	day1	day2	day3	day4	day5	day9	day16
月 日	/	/	/	/	/	/	/
プレオ 開始時間		↓				↓	↓
エトポシド 開始時間	↓	↓	↓	↓	↓		
シスプラチン 開始時間	↓	↓	↓	↓	↓		
確認							

	コース目						
	day1	day2	day3	day4	day5	day9	day16
月 日	/	/	/	/	/	/	/
プレオ 開始時間		↓				↓	↓
エトポシド 開始時間	↓	↓	↓	↓	↓		
シスプラチン 開始時間	↓	↓	↓	↓	↓		
確認							

	コース目						
	day1	day2	day3	day4	day5	day9	day16
月 日	/	/	/	/	/	/	/
プレオ 開始時間		↓				↓	↓
エトポシド 開始時間	↓	↓	↓	↓	↓		
シスプラチン 開始時間	↓	↓	↓	↓	↓		
確認							